

教育科目	文章表現		教育内容	文章表現			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	2 単位
授業目標	<p>1. レポート作成に必要な技術を学び、基礎訓練を行う。具体的なテーマに取り組みながら、自分の考えをまとめ、相手にしっかりと内容が伝わる文章を書けるようにする。</p> <p>2. 正しい表記や漢字について学ぶ。</p>						
授業概要	<p>文章を読み、理解し、内容に関して自己の考えや感情を表現することができるよう、さまざまな文章に触れ、それに対して表現する力を養う。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回・後期 1 回		前期 1 回・後期 1 回			
	<p>評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<p>実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する</p> <p>自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授</p>						
使用 テキスト等	<p>長島和代 他（わかば社） 『これだけは知っておきたい わかる・話せる・使える 保育のマナーと言葉』</p>						

教育科目	ビジネススキル I		教育内容	ビジネス能力			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	16 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. ビジネスマナーを習得する。 2. ビジネス能力検定ジョブパス 3 級を目指す。						
授業概要	職業人として必要なコミュニケーションの基本及び仕事の実戦について学ぶ。また、ビジネス能力検定 3 級の練習問題や過去問題を通して理解を深める。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) 後期			その他 (レポートなど)			
	小テスト 前期 2 回・後期 回			前期 回・後期 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、提出物、受講状況 (出席率) などを総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修『ビジネス能力検定 3 級公式テキスト』日本能率協会マネジメントセンター 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 監修『ビジネス能力検定 3 級公式問題集』日本能率協会マネジメントセンター						

教育科目	こども家庭支援論		教育内容	こども家庭支援論		講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 子育てをめぐる親・家族・社会の変化を理解する。 2. 子育て支援の必要性を理解し、子育て支援策について学ぶ。 3. 園や地域における子育て支援の実際を学ぶ。 4. 地域における子育て支援ネットワークづくりの必要性と課題を理解する。					
授業概要	現代の家族を取り巻く社会的状況の特質と子育て家庭の抱える困難、並びにこれまでの子育て支援政策の思想と現実を吟味し、どのような子育て支援が必要とされているかを明らかにする。次に、子育て支援の実際を理解し、今日求められている幼稚園・保育所における子育て支援の機能と保育者の役割についての認識を深めることを目指す。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 1 回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授					
使用 テキスト等	『新・基本保育シリーズ5 こども家庭支援論』中央法規出版					

教育科目	こども理解の理論と方法		教育内容	子どもの理解と援助			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	保育者には、子どもを理解したうえでの援助が求められる。本授業科目では、子ども理解を深めるための様々な視点や方法を学ぶとともに、それを踏まえた上での援助の考え方や方法について学ぶ。						
授業概要	発達の段階を見通した幼児期の子どもの姿を踏まえて、子どもの特性を考慮した援助のあり方を概説する。また、子ども個人だけでなく、幼児教育の学級集団づくりや家庭教育への関わり方を概説する。						
成績評価 方法	定期テスト		(前期)	後期	その他 (レポートなど)		
	小テスト		前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況 (出席率) などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) 保育園、療育センターにおける児童指導員経験 保育者としての知識、現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	こどもの保健		教育内容	こどもの保健			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. こどもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境が理解できる。 2. こどもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。 3. 現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について理解できる。						
授業概要	・こどもの成長過程を安全に、健康的に手助けするにあたり、こどもに多い病気を理解し、こどもへの接し方について総合的に学習する。 ・こどもの置かれている制度や環境を理解し、保護者支援についても学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	3回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) (専門知識や資格等を有する) 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 保育現場で求められるこどもの健康に関する医療的知識・技術を教授						
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	こどもの食と栄養		教育内容	こどもの食と栄養		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	ヒトが人間らしく生きていくために何をどのように食べるべきなのかという基本を理解する。その上で、それを暮らしの中にどのように具体的な形で、こどもたちに伝えていくのかということしっかりと理解し考え、身に付けることができるようになる。					
授業概要	1. レポート課題・単位認定試験出題課題を中心に、テキスト・参考図書だけではなくより広い視点からこどもの食と栄養について深く理解する。 2. スクーリングを通して学習成果に対する学習の理解を深め、実践力をつける。 3. 普段からあらゆる視点でこどもの食と栄養について興味関心を持ち、質問用紙等を活用して向上心を持って高い資質を身につける。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 管理栄養士としての実務経験 保育者として現場で求められる乳幼児の食と栄養について教授					
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本					

教育科目	保育の表現技術（身体）		教育内容	保育内容の理解と方法			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. こどもを対象とした運動遊びを計画・実践するために必要な実践的力量形成を目的とする。 2. 実践力を高めるためにグループごとに簡単な運動遊びを計画・実践し、お互いに評価しあうことも行う。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	1 回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト（実技）						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	適宜、資料配布						

教育科目	保育の表現技術（声楽）		教育内容	保育内容の理解と方法			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 基礎的なソルフェージュや発声を習得する。 2. 保育現場に必要な歌唱力を身に付ける。 3. 弾き歌いに於いて、こどもが興味をもてる歌い方を習得する。 4. こどもの音楽表現を引き出すための知識と、実践的な技能を身に付ける。						
授業概要	保育内容に沿ってこどもの音楽表現活動を援助し、こどもの成長過程における豊かな人間形成を育成することをテーマとする。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト（実技）						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 幼稚園における音楽講師経験 オペラ歌手としての実務経験 保育者として現場で求められる音楽に関する知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	神原雅之『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』 適宜、資料配布						



教育科目	こどもの指導法「言語表現」	教育内容	保育内容の理解と方法	演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数 15 コマ 単位数 2 単位
授業目標	こどもの言葉の大切さを知り、言葉の発達を促すために保育者がどのような関わりが必要かについて、具体的に学習する。			
授業概要	保育の現場において役に立つ技術を身につけることと、子どもたちが文化によって自らが文化を創り出す活動や表現ができるようにすることも視野に入れた授業を行う。			
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）
	小テスト	前期	回・後期	1回
	評価方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。			
評定基準	『坪内学園教務規程』による			
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する			
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本			

教育科目	乳幼児保育Ⅱ		教育内容	乳幼児保育Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史的変遷及び背景と制度について理解する。 2. 保育所、家庭的保育等多様な保育の場における、乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳幼児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。						
授業概要	乳幼児保育の歩みと現状、乳幼児の発達上の特徴など、基本的な知識について学び、その意義や必要性を理解できるようにする。人としての基礎を培う大切な乳幼児期に関わる保育者の役割を理解し、適切な保育の計画や方法、保護者への支援の習得を目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期 回・後期 1 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	配本なし 必要に応じて、プリント配布						

教育科目	こどもの健康と安全		教育内容	こどもの健康と安全			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. こどもの疾病やその予防及び適切な対応について具体的に理解できる。 2. こどもの体調不良、救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策ができる。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の特徴と観察点について演習を通して学習する。</li> <li>・日常に多い病状と対処及び予防方法について学習する。</li> <li>・事故防止と安全対策について具体策を立案する。</li> </ul>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	3 回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 保育現場で求められるこどもの健康に関する医療的知識・技術を教授						
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	障害児保育		教育内容	障害児保育		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 障害児保育の基本姿勢を学ぶ。 2. 障害について理解する。 3. 障害児への対応方法を学ぶ。 4. 障害のある子どもへも家族への支援を学ぶ。					
授業概要	1. 障害児に対する基本姿勢。 2. 関連の法律について学ぶ。 3. 障害について学ぶ。 4. 自閉症児への支援について学ぶ。 5. 児童福祉施設での支援について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期 1 回
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授					
使用 テキスト等	『新・基本保育シリーズ 17 障害児保育』, 中央法規出版					

教育科目	社会的養護内容		教育内容	社会的養護Ⅱ		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	13 コマ	単位数 1 単位
授業目標	1. 児童福祉施設における社会的養護の意義を理解する。 2. 子どもの心を理解する。 3. 児童福祉施設で生活している養護を必要としている子どもへの基本的な援助・支援内容と方法を習得し、専門性を高める。					
授業概要	社会的養護における児童の権利擁護、保育士の倫理、施設養護及び他の社会的養護の実践について学ぶとともに、個々に応じた支援計画の作成方法と評価、改善の手法について学ぶ。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・ <b>後期</b>	1 回	前期	回・後期 1 回
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。					
評価基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授					
使用 テキスト等	『新・基本保育シリーズ 18 社会的養護内容』, 中央法規出版					

教育科目	子育て支援		教育内容	子育て支援			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	親子とのかかわりを中心とした支援の実践力とともに、具体的にどのような準備を行うかなどの計画力も養う。保護者や家庭の子育てに対する支援的かかわりを学ぶ。						
授業概要	各施設における家庭や保護者への支援はもちろん、保育士個人として行う子育て支援やそこに付随する第3者との連携およびPDCAサイクルの実践、支援ニーズの吸い上げに必要な基礎的な考え方や技術など、実践事例を通して具体的に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期	回・後期 1 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、配布資料						

教育科目	教職実践演習		教育内容	保育・教職実践演習		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	学習と教育実習等で得られた指導力や実践とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身に付ける。幼稚園における実践を中心としているが、幼稚園と小学校のつなぎ、保育所と幼稚園の連携等を十分に意識し、教育現場・保育現場で直面する問題に対して対応力を学ぶ。					
授業概要	保育士および教師生活を円滑にスタートできるよう学校現場の視点に立った考え方についてロールプレイング、ブレインストーミングなどを通して学ぶ。具体的には、職務内容、倫理観、他者・他機関等との連携、事例を用いた対応策などである。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期 1回
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>					
使用 テキスト等	姫路大学配本					

教育科目	特別支援教育		教育内容	特別支援教育			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	従来の特殊教育の対象だけでなく、LD、ADHD、高機能自閉症を含めて障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支える視点に立ち、その一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を考える。						
授業概要	特別支援教育制度・システム教育・指導法の基本的な内容の理解を目的とし、特別支援教育の概要、特別支援教育に関わる制度、障害児の教育の歴史、個別の教育支援計画の趣旨などを中心に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本						



教育科目	教育相談		教育内容	教育相談		講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	「学校における教育相談とは何か」について、生徒指導上の有効性、学級経営上の有効性などを、理論、技法・態度などの体験を通して学習していく。					
授業概要	来談者中心カウンセリング、行動カウンセリング、グループカウンセリング等の理論、技術を講義やロールプレイを実施しながら、一人一人が体得するよう進めていく。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期 回・後期 1 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 臨床心理士としての実務経験 保育者として現場で求められる相談支援について具体的に教授					
使用 テキスト等	姫路大学配本					

教育科目	教育方法論		教育内容	教育方法論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	教育（保育）現場における様々な課題を解決する教育（保育）方法とその活用についての理解を深め、保育者として必要な資質を培う。						
授業概要	教育方法の定義と意義、歴史的変遷を踏まえ、教育方法の基礎を学ぶ。その後現代における教材教具、情報機器に対する理解を深めるとともにそれぞれの方法と評価について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評価方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	姫路大学配本						

教育科目	日誌指導Ⅱ		教育内容	日誌指導Ⅱ			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	12 コマ	単位数	1 単位
授業目標	部分実習、責任実習に必要な指導案を立案したり、指導計画などについて教材研究を行い、保育における自己課題を明確にする。						
授業概要	保育所における養護および教育において、長期的・短期的な計画を立てるにあたり、計画と実施、評価、改善への流れを助ける日誌の書き方について、目的、書き方、活用手法など応用的な内容を取り扱う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回・後期 1 回		前期 1 回・後期 1 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	配布資料						

教育科目	保育実習指導Ⅱ		教育内容	保育実習指導Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育士を目指す者としての自身の課題に向き合う。						
授業概要	保育実習Ⅰで修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深め、子どもの活動を観察しながら心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回・後期 1 回		前期 1 回・後期 1 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	石橋裕子・林幸範 『知りたいときにすぐわかる 新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』 （同文書院）						

教育科目	保育実習Ⅱ（実習）		教育内容	保育実習Ⅱ			実習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	保育実習Ⅰで習得した知識や理解したこと、また学校で学んだことをもとに保育士としての知識や指導技術をさらに深めるとともに保育観の確立を目指す。						
授業概要	保育実習Ⅰで修得した知識や理解したこと、また座学で学んだことをもとに子育て支援や指導計画に関する知識を深めるための準備を行い、子どもの活動を観察しながら心身の状態を把握するなどの指導技術をさらに高める。また、保育観の確立に向けた課題の探究を行うための学習を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各実習先の評価・取り組みの評価と実習日誌により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	石橋裕子・林幸範 『知りたいときにすぐわかる 新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド』 （同文書院）						

教育科目	憲法		教育内容	憲法			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	憲法は国家という基礎の上に成立し、平和が確保された状況で初めて機能する。憲法が我々の生活にどうかかわっているかを理解する。						
授業概要	憲法を学ぶことによって、統治機構と人権の二つが相互に結びついていることへの理解を深める。また、我々の生活に憲法がどうかかわっているかを、具体的な判例や事例を用いながら学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期	回・後期 1 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況（出席率）などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 自治体・施設での相談業務、自治体福祉施策推進職 保育者としての知識及び現場の実際を具体的に教授						
使用 テキスト等	豊岡短期大学配本						

教育科目	保育あそびⅡ		教育内容	保育あそびⅡ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	77 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 製作活動を通して、保育者として必要とされる造形の技術活かし実践できる。 2. 音楽・制作・運動の活動において指導援助の方法を考慮し実践できる。 3. 自らの発想力を活かし立案・実践できる。						
授業概要	音楽・制作・運動の3つの観点に基づき、それぞれが独立した保育活動を展開できるよう、オムニバス形式で実践的な内容を取り扱う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 3 回・後期 3 回		前期 3 回・後期 3 回			
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 幼稚園教諭としての実務経験 保育現場における造形に関する知識・技術並びに現場の実際を具體的に教授 オペラ歌手としての実務経験 幼稚園における音楽講師経験 保育者として現場で求められる音楽に関する知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	配本なし 必要に応じて、プリント配布						

教育科目	専門演習Ⅱ		教育内容	専門演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	43 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 音楽・制作・運動を軸にそれぞれの活動を計画し実践できる。 2. 弾き歌いを音楽活動の中に取り入れ、音楽遊びの実践ができる。 3. 運動や音楽と相互に関連する制作活動を計画・立案し、実践できる。						
授業概要	音楽・制作・運動の3つの観点に基づき、それぞれが相互に関連した保育活動を展開できるよう、オムニバス形式で実践的な内容を取扱い、それらを保育者として運営できるよう計画し、実践する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、小テスト、定期テスト（実技）						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する オペラ歌手としての実務経験 幼稚園における音楽講師経験 保育者として現場で求められる音楽に関する知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	配本なし 必要に応じて、プリント配布						



教育科目	幼児音楽(ミュージックコース)		教育内容	幼児音楽			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	50 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. 保育活動に必要なとなるピアノの技術と読譜力を習得する。 2. 合奏、合唱を通して、指揮やアンサンブルの手法を習得する。 3. リトミック活動を通して、保育者として必要とされるリズム感を習得する。						
授業概要	保育所において必要とされるピアノの基礎知識について理解し、演奏によって子どもたちの活動の幅を広げられるよう技術を高める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	1回・後期	1回	前期	回・後期	回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト(実技)						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 保育園及び幼稚園における音楽講師経験 リトミック・ピアノ教室主宰経験 オペラ歌手としての実務経験 幼稚園における音楽講師経験 保育者として現場で求められる音楽に関する知識・技術を具体的に教授						
使用 テキスト等	エドナ メイ バーナム『バーナムピアノテクニック 1』 神原雅之『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』						

教育科目	幼児体育Ⅱ (スポーツコース)		教育内容	スポーツⅡ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	50 コマ	単位数	3 単位
授業目標	運動遊びおよびスポーツの実践を通して、各々の体力向上を目指すとともに、幼児の発育発達と運動のかかわりについて理解し、対象に応じた活動を選択することができる。						
授業概要	幼児期の子どもたちにとって「遊び」は知的・情緒的・身体的な発育発達のうえで非常に重要な要素を含むものであることを理解し、それを踏まえたうえで、対象者に対してどのような運動プログラムを選択するための材料と実践できるレパトリーを増やすための実践を繰り返し行う。						
成績評価 方法	定期テスト (前期) (後期)			その他 (レポートなど)			
	小テスト 前期 回・後期 回			前期 1回・後期 1回			
	評定方法 模擬授業・意欲態度・提出物にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等							

教育科目	キャリア演習Ⅱ		教育内容	キャリア演習Ⅱ			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	14 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。						
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 病院及び介護施設における看護師としての実務経験 就職に関する知識及び社会人として求められるマナー等を教授						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	福祉・社会Ⅱ		教育内容	地域研究・学習発表会Ⅱ・総合体育・事業所関連		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 2年	開講期	前期・後期	授業コマ数	34 コマ	単位数 2 単位
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。</li> <li>・日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かす。</li> <li>・総合体育を通じ、チームワークの大切さを知る。</li> </ul>					
授業概要	芸術鑑賞及び考察、発表会、総合体育、ボランティア活動、就職対策					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する 高等教育機関での研究・教授の実務経験 保育者として現場で求められる体育に関する知識・技術を具体的に教授					
使用 テキスト等						